

高浜市誌編さん事業の成果・課題を“つなぐ” (案)



高浜市誌編さん事業(H28~R2)から得た課題

- ①まちの魅力や自慢(歴史・文化・伝統・産業・景観など)を掘り起こし、守り、伝え、活かす役割を担う人づくり
- ②新しい市誌を、先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢を知るためのツールとし、市民同士が学び合い、高め合う機会の創出
- ③市民の共有財産である郷土資料の継続した整理・保存を進めるとともに、生涯学習やまちづくりのツールとしての積極的な活用
- ④市民の「知りたい」「調べたい」に応えるため、文化行政全体(文化財保護、かわら美術館、図書館)の連携
- ⑤市誌編さん事業においてまとめた古代から現代にまで至るまちのあゆみを途切れさせないよう、“つむぐ”・“つなぐ”作業の継続と、市民への発信



目指す“まちの姿”

- ①先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民の共有財産として継承され、まちづくりに活かされています。
- ②市民ひとりひとり、さらに市民同士が自発的に学びの機会・場を創出しています。
- ③市民と行政が手を取りあいながら、まちの魅力・自慢そのものである“郷土資料”(モノ・コト)を『保存』→『記録』→『活用』するしくみができています。

まちの魅力を知ることによって「もっと知りたい」という好奇心や
「より良いまちにしたい」という愛着や誇りが生まれる

私たちの愛するまちを、未来へとつなげていく



★市誌編さん事業【H28～R2】

テーマ：『市民と共につむぐ・つなく』

体制：市誌編さん委員会
市誌編集委員会

◆ のこす・まもる

- ★考古資料・古文書資料の収集・整理・保存
- ★市民参加の資料調査(聞き書きなど)
- ★『高浜市のあゆみ資料』編集・発行

◆ しらべる・しる

- ★「たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム」の開催
- ★市広報での情報発信(市誌編さんだより、たかはまアーカイブ)

◆ つながる

- ★「タカハマ!まるごと宝箱」とのタイアップ講座開催

★(仮称)たかはま歴史・文化 保存活用事業【R3～】

テーマ：『市民と共にまもり・つたえ・いかす』

体制：市誌編さん委員会(体制を刷新)
文化財保護委員会
美術館・図書館・郷土資料館

◆ のこす・まもる

- ★まちのあゆみを物語る有形・無形の資料や記録を収集・整理・保存
- ★『高浜市のあゆみ資料』編集・発行
- ★市誌編さんの成果を活かした新規文化財指定 **新規**

◆ つながる

- ★市民を主体とした「タカハマ!まるごと宝箱」の開催

◆ しらべる・しる

- ★図書館の調べる学習サポート・レファレンス対応 **新規**
- ★「たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム」の開催
- ★市広報「たかはまアーカイブ」連載
- ★「(仮称)市誌を読む会」の開催 **新規**

「たかはま大好き」
「大家族たかはま」
の輪をひろげていく

◆ つたえる・いかす

- ★美術館展示での活用、市民参加型展示の実践 **新規**
- ★市誌にまつわる資料を活用できるようリスト等を整備・公開 **新規**

各まちづくりの現場で、まちの
魅力・自慢に磨きをかけ
地域資源として育てていく